

平成24年度 療育センターAOI 事業報告

療育センターAOI では、「リアン」児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護「エトワル」児童発達支援・放課後等デイサービス、「もなみ」生活介護・就労継続支援B型、「療育センターAOI」一般相談支援・障害児相談支援・特定相談支援（海南市・紀美野町から委託）、相談体制整備事業（和歌山県から委託）の5つの事業を実施してきました。

リアン（児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護）

9名の登録者（25年1月からは8名）があり、毎日約3～6名の方が利用されました。

年間の行事には、季節に合わせてお花見やプールを楽しんだり、10月には保護者の方とともに遠足に出かけたり、12月はクリスマス会を行いました。その他、外食や買い物を楽しんだり、クッキングや制作活動も行い、「もなみ」と合同で焼き芋をしたりし、日々の活動も充実できるようにした。また、毎月2回理学療法士の訓練を実施し、毎月1回の避難訓練は、火災と地震（津波）対応で考え実施してきました。

エトワル（児童発達支援・放課後等デイサービス）

通常3～5名の利用者があり支援学校へ迎えに行き放課後対応をしてきました。

春・夏・冬の長期休暇には8名程度の利用者があり地域で暮らす障害児の活動場所として展開してきました。

療育センターAOI（一般相談支援・障害児相談支援・特定相談支援）

今年度9月から相談支援専門員を1名増員し事業を進めてきました。

相談支援事業として毎月2回海南市と紀美野町で定期相談日をもうけ、地域の障害児・者の相談を受けています。それ以外に随時相談があり次第対応してきました。相談件数においても多くなってきています。また、海南海草障害者地域自立支援協議会の運営も他の委託相談事業所と協働しながら行ってきました。また、今年度から計画相談が始まり約40件の契約がありました。（今後さらに増えていくため、職員の体制についても考えていかなければならない）

相談支援体制整備事業（アドバイザー）

和歌山市と海南海草圏域を担当エリアとして、自立支援協議会の運営、地域の困難事例について委託相談事業所とともに対応したりしてきました。また、和歌山県の自立支援協議会で各圏域の地域課題を検討してきました。

もなみ（生活介護・就労継続支援B型）

平成24年度、生活介護事業と就労継続支援B型事業の障がい福祉サービス多機能型事業所として3年目の今年度、各事業とも利用者さんにとって楽しく過ごして頂ける場所として、一步一步進めてくる事が出来ました。

生活介護事業

利用定員15人で、利用契約者人数は2月までは14人でしたが、3月で15人（平成25年4月で16人となる見通し）となっています。

平成24年度の年間利用実績は12.5人、障がい程度平均区分4、生活支援員4人・看護師1人の体制で対応させて頂いています。

利用者の方は自閉症の方が多く、パーソナルエリアが広く、見通しをもって頂く対応が必要あり、一人ひとり異なる対応が必要だったりするのですが、もなみ職員が各支援学校や病院のリハビリ訓練の現場を見学させて頂いたり意見交換させて頂くなど協力して頂き、それを日々の対応に生かしながら季節感あふれる活動を取り入れることで、利用者さんがもなみへ楽しく且つ安心して来ていただける対応をすることが出来ました。

就労継続支援B型事業

利用定員10人で、利用契約者は9月まで4人、10月に7人、3月に10人となっています。平成24年度の年間利用実績は4.7人とまだ低い状況でしたが、そんな中、職業指導員と生活支援1名の2名の職員体制にて、クッキーの製造販売とブラシ作業の事業収入を確実に増収するべくイベント等での販売、季節限定商品の開発など行いながら、新しい利用者さんが早くもなみに馴染めるように定期的に食事会や、生活介護の皆さんとの合同イベント（BBQ）を実施しました。

利用者さんの平均工賃も、人数が倍以上増えた状況の中でしたが、今年度は1人当たり月額平均9,274円と予想していた金額を上回る事が出来ました。

平成25年4月からは、目標工賃達成指導員も配置する見通しがつき、職員3人体制を組むことで、来年度利用実績が増える中、少しでも多く工賃がお支払い出来る様、また一人ひとりの思いを大切に出来るようにと考えています。

